

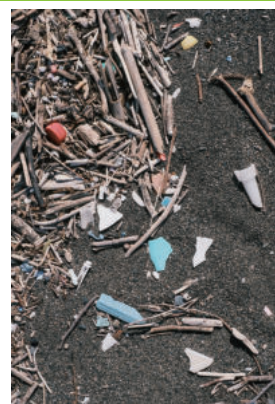
佐喜浜で清掃活動

2月20日、NPO 法人佐喜浜元気プロジェクトの呼びかけで地域の人たちが集まり、佐喜浜川の河口と尾崎海岸でゴミ拾いをしました。目につくのは粉々に小さくなったプラスチックです。ここまで小さくなっていると、砂から拾いあげるにはきりがありません。この破片がさらに5mm以下まで小さくなったものが、マイクロプラスチックです。

プラスチックは、海にたまたま汚染物質を吸着する特徴があります。また、袋や容器として使いやしくするための添加剤が加えられており、食物連鎖を経て、私たちヒトへどう影響するのか懸念されています。また、海で暮らす生き物による誤食の影響もでています。

ゴミの回収、処理の仕組みが整っている日本では、ゴミはゴミ箱に捨てさえすれば、海に流出

することは、あまりありません。とはいえ室戸に限らず、川や排水溝でゴミを目にすることはあり、漁や養殖、釣りを通じて、一定数のゴミが海に流出しているのも事実です。脱プラスチックの動きが、啓発の効果も含めて、どこまでこの流出量に影響するのか想像しづらいますが、孫の世代、そのまた孫の世代の視野を持つことには意味があるように思います。海を目の前に、人の想像では決して描けない、雄大な景色に囲まれ、他の地域ではなかなかありつけない新鮮で美味しい魚を食べて暮らすことができる室戸は、特別な場所です。シンプルに捉えられないことと、無理せず向き合うにはいい場所かもしれません。【地域おこし協力隊 遠枝】



御厨人窟に入洞できるようになりました

落石の危険があり立ち入り禁止になっていた御厨人窟と神明窟への入洞が4月12日から再開されました。御厨人窟は約1200年前の平安時代に、青年時代の大師が悟りを開いたと言われている場所です。「空海」という名前をつけたのも、ここから見える空と海に感銘を受けたからといわれています。室戸の大地はその後も隆起し続けているので、現在御厨人窟から見えている景色は、空海が見ていた景色よりも5mほど高い場所からの眺めです。落石に注意して見学してください。入洞は午前8時から午後5時までとなっています。



神明窟から海方面を見る

おいしいの室戸暮らし Vol.4

3月下旬、待ちに待ったブリがやってきました！室戸のぶりのおいしさを聞いて、今まで2月から3月にかけて何度か室戸を訪れましたが、食べられませんでした。年々獲れる時期が遅くなっているようですね。念願の室戸のブリ、堪能しました！台所に大きなぶりを置いて自分でも捌き、お刺身・お寿司・あら炊きに炭火焼き。またハーブ焼きや、オイル漬けにしてパスタやバケットサンドに入れたり、色々な料理にして楽しみました。

今年初めて食べたのが「ブリの卵」です。東京ではブリなどの大きな魚をそのままの状態で見ることが少ないので食べる機会がありませんでした。甘辛く煮ると絶品ですね。次はどんな食べ物に出会えるか楽しみです。



念願の室戸のブリに会えました。



野菜や魚は全て室戸産です

室戸ジオパークだよりへのご感想・情報提供などお気軽に下記連絡先までお寄せください！

〈発行〉室戸ジオパーク推進協議会 〒781-7101 室戸市室戸岬町 1810-2 (担当:大岩)

tel: 0887-22-5161 Email: info@muroto-geo.jp URL: <http://www.muroto-geo.jp/>





United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Muroto
UNESCO
Global Geopark

室戸ジオパークだより

2021.05 Vol. 75



鯉のぼりが室戸の広い空を泳いでいます。こどもの日の元となっている端午の節句は、男の子の健やかな成長や幸せを祈ってお祝いする日です。こどもたちの元気な声が聞こえる室戸であり続けますように。

アースデー

4月22日は「アースデー」、地球の日です。この日は、1969年に国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)で「地球環境問題」について考える日として提起されました。1970年の4月22日にアメリカで「環境問題についての討論集会」が開催されたのが始まりです。現在は世界一斉に環境を考えた行動をする日となっています。決まった方法はないので一人ひとりが自由な発想で行動できます。

アースデーを初日とする1週間は、「APGN ウィーク」として、アジア太平洋地域にあるすべてのユネスコ世界ジオパークが連携し、地球環境保全に加えて、コロナ禍での地域のレジリエンスを高めるなどのアクションを起こす期間でもあります。その期間中に中国国内18のユネスコ世界ジオパークで共催されたイベントに、「室戸の特徴ある地形や気候(環境)と共に生きる地域の人」というテーマの動画で参加しました。その動画を室戸ジオパークの公式YouTubeチャンネルで公開しているので、ご覧ください。

室戸高校はアースデー当日に、室戸の姉妹ジオパークであるランカウイジオパークと「コロナ禍の中でレジリエンスを育む活動」というテーマでオンラインで交流しました。さらに室戸世界ジオパークセンターのお隣にある赤穂化成株式会社さんより、海洋深層水のウォーターサーバーを提供していただきました。ペットボトル削減やゴミゼロの目標達成のため、紙コップは備えつけておりません。マイボトルを使ってご利用ください。



海底地形を活かした定置網漁



アースデーのポスター作成中



動画はこちらから

ニホンカモシカは室戸のどこにいる？山に仕掛けたカメラの撮影結果を一緒にみませんか？

横倉山自然の森博物館学芸員で、動物専門家の谷地森先生を中心に、室戸市内のニホンカモシカとニホンリスの調査を実施しています。2月に室戸の山の中、19ヶ所に設置した自動撮影装置をいよいよ回収します。カモシカはどのあたりにいるのか、室戸にニホンリスはいるのか…！？3ヶ月間の設置で他にどんな動物が写っているのでしょうか…。どきどきです。

せっかくの機会なので、地域みなさんにもお越しいただき、夕食を囲みながら、谷地森先生と一緒に撮影された映像をみたいと思います！内容は以下の通りです。

「室戸の動物カメラ映像確認会」

日時：5月21日(金) 19:00～

場所：民宿徳増

定員：20名

参加費：夕食代 3,000円(料理のみ)、飲み物は持参

内容：2～5月にかけて室戸市内19ヶ所に設置した自動撮影装置に写った動物の映像を谷地森先生と夕食を囲みながら確認。もちろん谷地森先生の解説付き。

参加連絡：室戸世界ジオパークセンター (Tel:0887-23-1610)

※新型コロナウイルス感染症対策のうえ実施します。感染拡大状況によって中止になる場合があります。



動物カメラ設置の様子